

平成28年度  
学校自己評価報告書

平成29年4月

学校法人八文字学園

 専門学校水戸ビューティカレッジ

## ◆平成 28 年度 学校自己評価について

学校法人八文字学園専門学校水戸ビューティカレッジは、平成 15 年の創立以来数多くの卒業生を輩出し、美容業界の発展とともに歩んでまいりました。その間、美を追求する技術は生活様式と密接に関わる中でさまざまに変化し、その多様化及び個性化が特徴的となりました。本校では、こうした時代の流れや社会的要請を踏まえ、新時代を担う美容スタッフとして社会に貢献できる人材育成を使命として、常に教育内容の改善・改良に努めながら教育活動の展開をしてまいります。

本校では、平成 20 年度より学校自己評価を実施し、更に文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として、本校の教職員が更なる教育の質の向上を目的として自校の教育活動その他の学校の状況について客観的に評価し、現状の把握、問題点の発見ならびに改善策の検討・実施を行っております。

### 1. 対象期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

### 2. 実施方法

- (1) 自己点検評価委員会による合議制の評価  
実行委員会を設置し、自己点検・自己評価を実施し、改善に取り組んでいます。  
学校長をトップとして学校自己評価委員（教職員）により、その規定によって方針を定め、評価を行っております。
- (2) 参考基準：「専修学校における学校評価ガイドライン」
- (3) 評価期限：年一回年度末
- (4) 評価結果の公開：報告書の作成保管およびホームページでの公開

### 3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

#### 4. 評価項目に対する評価

評価は 4～1 の点数で記載します。

評価      4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

#### ◇基準 1      教育理念・目的

##### 教育理念

##### 美容スタッフとしての人間力の育成

1. 美容に関する知識・技能を修得させ、あわせて社会人としての教養と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成すること。
2. 美容の多様化、個性化に対応するためにメイク・ネイル・エステティック技術などトータルビューティの修得についても目指す。
3. コンピュータ活用能力の修得などビジネス教育を通し、幅広い視野をもつ美容スタッフの育成を行う。

美容に関する知識と技能及び関連資格の習得、併せて社会人としての教養と人間性豊かで、実践力、即戦力を持った人材の育成を図る。また、美を創造する技術を通して心の豊かさを人々に提供できる人材の育成を目標とする。

水戸ビューティカレッジは、この教育理念・目標にプラスして、美容業に携わるサービススタッフとして、コミュニケーション能力の向上、よりよいマナーの修得を目的として、常に問題解決型指向の人材養成に取り組んでおります。

##### (1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
イ	学校における職業教育の特色を示しているか	4
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
エ	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
オ	各学科の教育目的、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

##### (2) 現状および問題点と改善策

ア. 教育理念は明確に定められ、ホームページに公開している。

イ. ホームページやパンフレット等に学科ごとの職業教育の特徴を表している。カリキュラムの実効性の評価や業界の動きを的確にキャッチする仕組みが必要である。

- ウ. 学校の将来構想については、業界の動向も踏まえ、これからの進学者人口の減少傾向により、短期的な見通しはあるが、中長期的構想は立てにくいので学内プロジェクトを立ち上げ、対策を始める必要がある。
- エ. 教育理念や育成人材像等について、学生には行事やホームルーム等で周知している。
- オ. 教育課程編成委員会において、業界団体、企業、有識者の声を参考に、変化に対し敏感に柔軟性をもって対応している。

## ◇基準2 学校運営

### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
ウ	運営組織や意識決定機能は明確化され、有効に機能しているか	4
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか	4
オ	教務や財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
キ	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 運営方針は、学校の目的、目標に基づき学校運営方針が明確に定められている。
- イ. 目的・事業計画を基に年度ごとに策定し、全教職員対象に周知している。
- ウ. 学校運営に関する組織は整備されており、年度ごとに策定し、年度初めに全教職員対象に周知している。必要に応じて人員体制等の変更を検討している。
- エ. 人事、給与に関する制度は整備されている。必要に応じて見直しを適宜検討している。人事面においては、問題点を明らかにし改善の方策を検討していく。
- オ. 学園全体の組織における業務分掌の再検討と明文化を進めるための準備をしていく。
- カ. 学内規程・マニュアル・倫理・社会貢献など常識や最低限のレベルでの自発的な取り組みをしており、また状況に応じて個別的に適切に対応している。規定の整備や組織的な取り組みについては今後の検討課題である。

キ. 教育活動とその成果については、ホームページやチラシ等を通じて適宜、適切に公開している。学科ごとの教育の概要や成果については、入学案内書、ホームページ等に公開している。

ク. 情報システムによる業務の効率化は図られているが、予算面の制約や技術面スピードの速さによりシステムの見直しが難しくなっている。

### ◇基準3 教育活動

#### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によりインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
キ	企業や専門家の意見・評価を受け、より実践的な能力を修得する機会が整備されているか	4
ク	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
ケ	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
コ	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
シ	関連分野における先端的な知識・技能等の修得や指導力の育成など、教員の資質向上のために研修等の取組が行われているか	4
ス	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### (2) 現状および問題点と改善策

ア. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている。

イ. 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を設定しているが、学力差異や個人差の問題もあり、技術面も含めレベル維持が課題である。

- ウ. 厚生労働省の指導の下、学科ごとにカリキュラム（学科概要、科目関連、シラバス）は体系的に編成されている。
- エ. 育成人材像や業界のニーズ、目標等を明確にしている。生活様式と密接に関連して美容技術が変化する中、総合的な技能が求められることにおいて、限られた年限での到達レベルについては継続的な検討が必要である。
- オ. 教育課程編成委員会において、業界団体、企業人、有識者の声を参考に、変化に対し敏感に柔軟性をもって対応できるようにしている。
- カ. 学科ごとに、企業等と連携した実習・演習授業を行っており、実践的な職業教育について体系的に位置づけている。
- キ. 全学科において、企業連携授業として実践的な能力を修得する機会を設けているが、さらに充実した企業連携教育を目指していく。
- ク. 授業評価は、学生からの授業アンケート、教員の自己評価等で行っており、それらを総合して評価する体制を整えている。
- ケ. 成績評価の基準は、学生心得の中で、わかりやすい言葉で具体的に示してあるので、周知面では十分である。また学則、教務内規に明記されており、それに従って運用している。
- コ. 目標とする資格は、カリキュラム上で、わかりやすい言葉で、できるだけ具体的に示しているため、周知の面では十分である。  
しかし、サポート体制については、カリキュラムの実効性の評価や時間数、教育内容など学生の状況を鑑みながら、今後改良工夫を加えていく必要がある。
- サ. 採用は、資格取得、経験年数、業務内容、指導力、人間性等の教員の資質面を重視に努めている。また、必要な場合は、業界、企業と連携して行っている。
- シ. 教員の研修については、専門分野の最新技術や知識についてあるいは指導力などの研修を必要に応じて実施している。
- ス. 希望する研修について各学科の専門分野において個別に適宜実施しているが、組織的な取り組みが十分ではないので検討を進める。

#### ◇基準 4 学修成果

##### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	就職率の向上が図られているか	4

イ	資格取得率の向上が図られているか	4
ウ	退学率の低減が図られているか	3
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4

## (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 進路指導担当と担任が連携しながら個人指導の徹底、企業求人情報の開示、就職関連知識の授業枠での指導など総合的な就職支援活動を展開して就職率の向上を図っている。
- イ. 各学科の主とする目標資格を設定し、集中授業等支援策を講じて組織的に指導体制を組んでいる。更に指導法の工夫改善に努めることとする。
- ウ. 退学防止として担任及び学科責任者による面接指導、カウンセリングの充実、基礎学力の充実などの指導に力を入れている。その他、入学する学生の学力の低下や学生自身の精神的な問題、学生を取り巻く家庭的な原因等対応しにくい複雑な要因に取り組むための支援策を検討することも必要である。
- エ. 卒業生の社会的活躍及び評価については全体としては特に把握していないのが現状である。卒業生のその後のフォローと組織的な取り組みが必要である。
- オ. 卒業生については、卒業生の問い合わせにより担任や就職担当者において、転職などの相談にも乗っている。今後、卒業生からの意見や評価を把握できるシステムづくりを検討することも必要である。

## ◇基準5 学生支援

## (1) 評価

	評価項目	評価 (4~1)
ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
イ	学生相談に関する体制は整備されているか	4
ウ	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
カ	学生の生活環境への支援は行われているか	3
キ	保護者と適切に連携しているか	4
ク	卒業生への支援体制はあるか	4
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の組織が行われているか	2

## (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 進路・就職に関する支援は、進路指導担当者と担任が連携して計画的に指導を行っており、個々の学生に合った進路指導を展開している。
- イ. 特に学生相談室を開設はしていないが、クラス担任制をとり、学科責任者と共に常に学生と向き合うことで学業以外の諸課題についても相談できるようにしている。
- ウ. 一人暮らし支援制度、定期券半額負担制度、特待生入学制度（学業特待、資格特待、精勤特待、OC特典）、学費の分割納入など経済的に支援する制度を整備している。また、日本学生支援機構奨学金や日本政策金融公庫・県の奨学金等の積極的な紹介により支援している。
- エ. 定期的な健康診断を毎年実施している。また、規則正しい生活とバランスのとれた食事の指導、精神的な安定の重要性やゆとりある生活の推進など「心と体の健康管理」の支援をしている。
- オ. 学園全体で行うバスハイクやスポーツ大会を実施しており、その他ボランティア活動としては、学校周辺の定期的清掃活動や通年で行なっている日本赤十字血液センターにおけるネイルケアのサービス、日立市における「ひたち国際大道芸」のフェイスペイントブース運営等を行なっている。
- カ. 一人暮らし支援制度により、経済的支援を行っている。学生寮については運営していない。
- キ. 年2回の保護者宛ての発送文書（成績、出欠状況）による学生状況報告、担任から保護者への電話連絡、必要に応じた面談等において、保護者との密接な連絡を取っている。また、進級時には三者面談を実施し、学生の将来に備えている。
- ク. 担任レベルでの卒業後連絡や就職相談等はあるが、組織的な卒業生のフォローアップ体制は整備していない状況であり、今後の課題でもある。
- ケ. 教育課程編成委員会を通し企業や関連業界の意見を参考にしながら実践的な職業教育の視点から教育方法を検討している。また、美容室のオーナーや人事担当者等から様々な実社会の現状を聞き学生指導に活かしている。
- コ. 高等学校との連携は特に実施してはいるが、見学会やオープンキャンパス等を通して具体的な実習体験をすることで職業への関心を高める支援を行っている。



## ◇基準6 教育環境

## (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3
ウ	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	4
エ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	4

## (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 施設・設備は、美容師養成施設として教育上必要な各実習室を含め十分に整備されている。
- イ. 学外の企業実習等については特に組織的に実施していないが、採用が前提となる企業実習については状況により実施することもある。美容業について実体験を通して理解する機会でもあり有効に活用することも必要である。
- ウ. 学生が自主的に学習するスペースとしての特別なルームは用意していない。教室の放課後の開放で自主練習に活用している。
- エ. 防災に関する計画書および災害時の行動マニュアルは整備しており、避難経路の周知や緊急避難時の連絡体制は整備されている。各種防災に対する安全指導体制を進めている。

## ◇基準7 学生の受け入れ募集

## (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	4
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	3

## (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 学生の確保は、学校運営上最重要課題である。そのため学生募集活動は、必須条件となる。学校の教育内容や就職状況、資格取得等の実績を基本に、真実性、透明性、公平性、法令遵守において、入学希望者に対して適切な入学情報を提供できるように配慮している。
- イ. 就職実績、資格取得実績等の教育成果は正確に伝えられている。また、本校の教育内容、成果を十分理解できるように「入学案内」や「ホームページ」、「学校見

学会」、「学校説明会」、「オープンキャンパス」等で詳細に説明している。

ウ. 学納金は、社会的・経済的動向等を踏まえ総合的に見て妥当な水準である。

## ◇基準 8 財務

### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか	4
エ	財務情報公開の体制整備はできているか	4

### (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 各年度の収支とこれまでの蓄積を充て、借入をせずに自己資金で賄ってきており、財務諸表の通り財政基盤は安定していると考えている。今後も中長期的に安定して入学者を確保するための計画、戦略を実施し財務基盤の強化に努める。
- イ. 学校運営にとって、財政基盤の安定確保は最重要課題であり、法人全体としても厳格な予算編成を行っている。学園全体の予算編成方針に基づいて計画を立案し、各校の運営計画に従って予算を執行している。
- ウ. 会計監査については、税理士の指導を受けながら会計処理を行った上で、公認会計士による外部監査、本法人の監事2名による内部監査を毎年度2回（5月と12月）実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。
- エ. 平成 23 年度より私立学校法の規定に従って、財務諸表等を作成し、理事会の承認を得て公開している。

## ◇基準 9 法令等の遵守

### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
エ	自己評価結果を公開しているか	4

### (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 国・県に関係書類を提出し運営許可を得ている。また、法令や設置基準に対しては、設置基準者が把握し遵守している。教職員に対しては法令の改正、新法令の制定などが発生する都度注意を促している。

- イ. 「個人情報管理規定」を策定し、個人情報の適正な管理運用に努めている。日常の個人情報の取り扱いにおいて、個人情報の保護に対する意識付けを強化し、定期的な注意喚起を行う。
- ウ. 自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善策を検討している。
- エ. 自己評価結果については、自己点検評価報告書を作成し、学園ホームページで公開している。

#### ◇基準 10 社会貢献・地域貢献

##### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

##### (2) 現状および問題点と改善策

- ア. 職業教育を行なっている専門学校として高校生に対して、見学会やオープンキャンパス等の機会を通して将来の職業に対する職業観の育成を図り、職業への関心を高める支援を行っている。また、附帯教育事業として通信課程を設置して、働きながら国家試験受験資格取得を目指す者を支援している。
- イ. ボランティア活動としては、学生による学校周辺の清掃活動を行って意識向上を図っている。その他、日本赤十字血液センター水戸支部における献血者へのネイルサービスのボランティア活動を通年で実施したり、毎年5月には日立市におけるイベント「ひたち国際大道芸」でのフェイスペイントブース運営のボランティア活動を行なっている。
- ウ. 現在、公開講座・教育訓練の受託等については行っておらず今後の検討課題でもある。

#### ◇基準 11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

以 上

---

学校法人八文字学園 専門学校水戸ビューティカレッジ  
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14

---